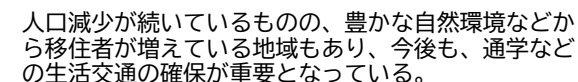


- ## 事業の内容

ダイヤは路線バス「万字線」をもとに、利用状況を踏まえた時間帯で運行、バスロケーションシステムを導入し利用者のスマートフォンなどに情報提供することで利便性が向上、地域旅客運送サービスの維持を図る。

## 事業の効果

- ・住民ニーズに合わせた市中心部へのアクセス性の向上  
路線バス「万字線」においては、岩見沢ターミナル～教育大学間を考慮したダイヤ設定となっていたが、東部丘陵地域住民に配慮したダイヤ、路線とすることで利用者の増加が図られる。
- ・車両小型化による事業効率化・収支圧縮  
車両を大型バスからワゴンタイプ車両へ変更することにより赤字の縮小、岩見沢市の負担額の縮小が図られる。



- ・作成自治体 北海道岩見沢市
- ・事業実施区域 岩見沢市栗沢町万字地区（ほか）
- ・事業実施予定期間 R4年4月～R8年3月